

# 信州

## 新たな時代へ 受け継ぐ

### 切り開く

この山にどんな木が何本あるのか、売り手も買い手も正確には知らない。売り手はず伐採し、買い手の望む木が



長野県でドローンに搭載したカメラで撮影された映像

## ⑤ スマート林業

なければ在庫になる。伐採ありきで需給調整ができないことが日本林業の弱點と指摘されてきた。「先端技術を使ってきたスマート林業を調点を京版し、成長産業にする」。信州大山岳科学研究所(南箕輪村)の加藤正人教授はこう話す。スマート林業普及の旗振り役として奮闘する。

昨年十一月、山ノ内町の山林上空を小型無人機ドローンが飛んだ。搭載した高性能レーザーを樹木に照射。一本一本の樹高や太さを解析し、瞬時に結果がモニターに表示されると、見守る林業関係者が驚きの声が上がった。



スマート林業の可能性について語る加藤教授。南箕輪村の信州大山岳科学研究所で

「スリムして情報共有すれば、買い手は買値に基づく生産計画を立てて発注でき、売り手も無駄な伐採や在庫から解放される。加藤教授は、スマート精密

「ファンタジックで武者修行をする」。六年前、加藤教授は同国の世界的研究者を訪ねた。レーザーやプログラミングは全くの専門外。覚悟を決め基礎から学んだ。帰国後、学んだ知識を生かして独自のプログラムを開発し、これが普及の嚆矢となった。レーザー搭載ドローンは一千万円以上と高価だが、加藤教授のプログラムを使えば、カメラを搭載したドローンほど正確に解析できる。産業構造を變える画期的な技術。現場や行政も飛び付いた。県内十地域の森林組合などが普及型で調査を始めている。昨年二月には信州大と

# ドローンで生かせ山林

これまでの森林調査では、三人が一週間かけて十段を調べるのが限界。レーザー搭載のドローンなら、わずか十五分で十五段の全数調査が可能になる。解析情報をデータベースし、成算を上げていたからだ。

林業の分野で後れを取る日本の状況に歯がゆさを感じている。国内総生産(GDP)の20%ほどを林業が占める北欧などは国の支援で積極的に導入している。加藤教授は、スマート精密

県、林業関係者などがスマート精密林業の協議会を発足させた。県内でスマート林業を普及させて「長野モデル」をつくり、全国に発信する狙いだ。

県土の八割ほどを森林が占める信州では、戦後復興期の需要に支えられ、林業が成長した。一九六四年、木材輸入の全面自由化で安価な外国産材が流入。七〇年代のオイルショックなども響いて衰退が始まった。

超の林業従事者がいたが、二〇一七年は千五百九十四人と半減。人手不足で、山林を健全な状態に保つために行う間伐も十分にできない一因となっている。

加藤教授は「信州を先駆的な地として、木材をベースにした家具や楽器、繊維、エネルギー産業を構築させたい」と将来を見据える。衰退する林業を成長産業にする理想の姿だ。



森の資源調査の要領で飛び立つドローン。いずれも山ノ内町で

も響いて衰退が始まった。スマート林業の導入などで効率的な木材供給体制が確立されている外国産材を購入するようになっていった。県内には九二年、三三人

## 産業構造転換が急務

年度に森林づくりに県民税(森林税)を活用して行った間伐は二万三百四十八行で、目標の69%にとどまる。産業、防災の両面から産業構造の転換が求められる。

「地方の若者は職がないと都会に出てしまうが、田舎にある山林を生かせば雇用の場ができる。成長産業だと示せば人も集まるので、林業を活性化し、信州や全国の田舎を元気にしたい」

(渡辺陽太郎)

長野支局 長野市神所岡田64-5 (〒380-0836) 026(228)1456 FAX 026(228)0587 nagano-sb chunichi.co.jp
松本支局 松本市深志1-1-19 (〒390-0815) 0263(32)3453 FAX 0263(36)7800 (広告) (26)5881 matuotofu chunichi.co.jp
木曾通信局 0264(22)2102 FAX 0264(21)1001
大町通信局 0261(22)0243 FAX 0261(22)9314
塩尻通信部 0263(52)4300 FAX 0263(53)3479
飯田支局 飯田市長和町2-21 (〒395-0086) 0265(22)0555 FAX 0265(24)0858 (広告) (23)9049 chujida@ chunichi.co.jp
伊那通信局 0265(72)2405 FAX 0265(73)9706
駒ヶ根通信部 0265(83)2804 FAX 0265(83)1409
諏訪通信局 0266(52)0805 FAX 0266(54)0605
岡谷通信部 0266(24)0330 FAX 0266(23)9617 ニュース上の電話へ
読者センター 052(221)0800